

小川北義務教育学校

【最終号】

開校準備委員会だより



このたよりは、小川北義務教育学校開校に向けた準備の情報をお届けするものです。平成29年度に設置された開校準備委員会は、5年にわたる協議を経て、今回が最後となりました。保護者の皆様・地域の皆様には、ご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございました。

第19回開校準備委員会を開催

専門部会からの報告に基づき、校歌の検討等を行いました。



PTA部会からの報告

○立哨活動

立哨活動の実施について、PTA活動の一環として行うか、あるいは各地区の自主的な活動として地区に委ねるか、検討しました。その結果、PTA活動の一環とせず、地区に委ねることとしました。

○家庭教育学級

1学年で実施し、学級長・副学級長は、学年委員長・副委員長が兼任としました。

○地区委員の決め方

地区ごとに、小P・中P合わせた中から、1名を選出することとしました。

総務・通学部会からの報告

通学体制

各小学校での通学班編成に合わせて保護者の皆様から挙げていただいた通学路内危険箇所について、想定される危険箇所対策案の確認を行いました。今後、関係機関と調整の上、対策を進めていきます。

校章

第18回開校準備委員会で選定したデザイン案を基に、デザイン事業者に補正を依頼し、決定しました。

<原案制作者>

山本 洋平 さん（小川北学区出身・在住）

<デザイン説明>

野田・上吉影・下吉影の3地区の輪を、3枚の花弁を持つ花で表現しています。輪の中の「小」「川」「北」と中央の「學」の文字は、学校名を表しています。統合によって地域の輪が1つになり、児童生徒が一丸となって切磋琢磨することで、地域に新たな花を咲かせ、新しい歴史を創り上げていってほしいという思いが込められています。



校歌

新しい校歌を試聴した上で、協議を行い、決定しました。

ひばり飛び立つ 朝焼けに
 筑波の山が 春を告ぐ
 重ねた日々には 背を押され
 交わした言葉 光舞う
 迷いもたずさえ 巣立つとき
 未来を灯す 小川北
 まばゆい希望 育つ場所
 梅咲き誇る 白日に
 呼ぶは春風 明日へと
 こぼれて見果つ その先に
 試練のときが 来ようとも
 あなたの想いを 胸に抱き
 いつかに続く 小川北
 決意の鐘が 鳴り響く
 過ぎたふるさと 思うたび
 いのち輝く 小川北
 夜明けを越えて 誇る場所

○歌詞解説 作詞：クロダセイイチ氏（小美玉市：野田小学区出身）

<テーマ>

私は色々な悩みがある時に、小美玉市に住むみんなや帰れる場所があることでとても救われてきました。これから小美玉市で育つ子どもたちにもそんな「ふるさと」を作りたいという想いを歌詞に込めました。子どもたちが生きていく中で多くの困難があっても、前に進むために挑戦して、何かつらいことがあった時に帰れる場所が小美玉市であってほしいなと思います。

また、子どもを支える大人たちに向けても、子どもにとって「あなた」がとても大切で必要だということを伝えたいと思いました。保護者や先生方、小美玉市に関わるみんなの希望や光を感じる校歌にしたいと考えました。

<構成>

リズムや流れを考え、1行を7文字・5文字とし、計7行で一節としました。5行目のみ8文字・5文字としており、最後の2行（サビ的部分）が映えるようにしました。また、1番：朝、2番：昼～夜、そして朝へという時間の流れを入れることで、希望や光をより感じさせる構成になっています。

○楽曲解説 作曲：田川めぐみ氏（小美玉市出身）

制作にあたっては、歌詞の発音や言葉の推進力によって、自然で歌いやすい旋律を心がけました。また、今の時代に開校する新しい学校ということで、今の子どもたちにとって親しみやすく、長く親しまれるスタイルを心がけました。

小学1年生～中学3年生の計9年間ということで、楽曲としての歌い応えと、どの成長過程・性別でも歌える音域を重視しました。

今後の予定

スクールバスの各乗降所におけるバスの進入経路や、バスの発着時刻については、今後、地区回覧にてお知らせいたします。また、閉校式・開校式等を以下の日程で予定しております。

閉校式：野田小学校 2月19日（土） 上吉影小学校 2月20日（日）

下吉影小学校 2月26日（土） 小川北中学校 2月27日（日）

学校内の備品等の引っ越し：3月26日（土）・27日（日） 開校式：4月6日（水）

発行：小川北義務教育学校開校準備委員会

（事務局）〒311-3492 小美玉市小川4-11 小美玉市教育委員会 教育企画課 企画係
Tel:0299-48-1111（内線2211・2213） Mail:kyoiku@city.omitama.lg.jp